



## 清滝神社湯立て神事

5月15日(木)、820年の建立以来続いている湯立て神事が行われました。この神事は、熱湯に浸したササの束を頭上に振り上げ、熱湯を浴びる荒行により、地域の安全を守るなどとされています。

この日は、地域の住民に混ざって、地元清滝小学校の6年生も見学を訪れており、立ち昇る湯煙と飛び散る湯に驚きの声を上げていました。



## 全市クリーン大作戦



6月1日(日)と8日(日)に、市内の各地域でクリーン大作戦が実施されました。

今市地域の明神自治会では、例幣使街道の杉並木内約1kmのごみ拾いを行いました。参加していた自治会の方は「年2回、春と秋にごみ拾いを行っていますが、一方通行やカーブで見通しの悪い場所には、特にごみが多く捨ててありますね」と話していました。

## 今市田植祭

5月25日(日)、民謡瑞豊会ずいほうかいの主催により小林地区の祭田で今市田植祭が開催されました。この祭は、農作業の機械化に伴って歌われなくなってしまう「田植唄」や「人馬時代の田植え」を保存・継承していこうと、33年前から行われています。



農耕馬による代かきが始まると昔ながらの姿に扮した早乙女と小林小学校の児童が田んぼに入り、苗取唄に合わせて苗の株分けを行いました。その後、田植唄が歌

れる中、一列に並んで手で苗を植えました。当日は小雨が降っていましたが、今では珍しくなった手作業での田植えを見ようと多くの方々が訪れ、作業が始まると一斉にシャッターを切っていました。小林小学校3年の早川千晶はやかわあきさんは、「始めて田植えを体験しました。ずっと田んぼの中に入っていて足が痛いけど、楽しかったです」と話してくれました。



一本一本、丁寧に苗を植えました。

## 合唱フェスティバル

6月1日(日)、今市文化会館で第2回日光市合唱フェスティバルが開催されました。市内で活動する10のコーラスサークルなどに加え、今市と日光の両少年少女合唱団(写真①)も参加しました。

各団体は日頃の練習の成果を発揮し、合わせて34曲の美しいコーラスを披露。最後は10団体のメンバー全員で、コーラス・ネットワー・ク・NIKKOのテーマ曲である「永遠に」を歌い、フェスティバルを締めくくりました(写真②)。



①



②

## 「日光学」開講

5月31日(土)、中央公民館で「日光学・地域のきらり創出セミナー」が開講しました。

日光学とは、市の歴史や自然環境、文化を多様な切り口から学習することです。日光学により、地域の「きらり」と光る部分を再発見し、サークル活動などを展開できる地域リーダーの育成を目指しています。

セミナーは、3年かけて学習する計画で、初年度は、現地視察を含めて10回の講座を行います。2月には、受講成果を発表するパネルディスカッションを予定しています。受講した丸山さん(倉ヶ崎)は、「40年以上住んでいます。もつと日光市を知りたくて参加しました」と話してくれました。



## 平家大祭

6月5日(木)〜7日(土)の3日間、湯西川温泉で平家大祭が開催されました。

5日に行われた前夜祭は残念ながら雨でしたが、会場には龍王太鼓と火渡式を見ようと、たくさんの人が集まりました。勇ましい掛け声とともに山伏が炎の中を駆け



抜けると、会場から大きな歓声が沸き上がりました。

2日目以降は晴天に恵まれ、6日には武者行列、7日には九十九姫行列が行われました。九十九姫行列では、艶やかな衣装に身を包んだ姫たちが温泉街を歩きました。たくさんの人たちにカメラを向けられ、参加している女性たちは少し恥ずかしそうな様子もありましたが、流れる音楽に合わせて踊りながら優雅に歩いていました。行列に参加していた



武者行列には、地元の小中学生も参加しました。



色鮮やかな姫たちの行列には、たくさんのフラッシュがたかかれていました。

宮川さん(宇都宮市)は、「職場の研修で湯西川へ来て、この大祭にも参加しました。出発したときは、大勢の人たちに写真を撮られてとても緊張しました。でも、途中から慣れて楽しくなってきました」と話してくれました。

今年は大祭の最終日が土曜日だったこともあり、大祭期間中の3日間は、昨年を上回る約1万4000人の観光客が湯西川温泉を訪れました。

## 今月の表紙 平家大祭

大祭のメインとなる2日目の武者行列には、招待客や市民など約150人が参加しました。

ほら貝を吹く山伏に先導され、鎧兜よろいかぶとなどを身につけた武者たちが温泉街を練り歩きました。

地元の小中学生たちも、大人と同様に重い鎧や着慣れない着物を身につけていましたが、出発式が行われた湯殿山神社から終点の平家の里までの約1.5kmを元気に歩きました。

表紙の写真は、大将役の阿部大地くん率いる少年武者隊です。阿部くんは大祭に参加した感想を聞くと、「武者行列には、1年生のころから参加しています。今日は兜と鎧が重くて、汗びっしょりになりました」と話してくれました。



武者行列の様子。平家が栄えていた時代に、タイムスリップしたようです。



にぎわう山野草展【5/3〜5/18・藤原】

春の大イベントとして定着した山野草展が、今年も鬼怒川レジャー公園で開催され、期間中に約1万6千人が訪れました。

会場には「鬼怒川ヨウラク」や「サクラソウ」など、市内の山野草愛好者が丹精こめて育てた作品、約200種500点が展示され、訪れた人たちの目を楽しませていました。



文・写真：鬼怒川・川治温泉観光協会

水産業連絡協議会が設立【5/19・全域】

市内の漁業協同組合や養殖業者を対象とした、日光市水産業連絡協議会が発足しました。

協議会の会長に選ばれた、中禅寺漁業協同組合長である吉田國男氏は、「これからは、市内の漁業協同組合や

養殖業者が連携し、豊かな自然に囲まれた日光の水産業をPRしていくことが大切」と話しました。



文・写真：日光市水産業連絡協議会

普通救命講習【5/25・日光】

日光消防署で行った普通救命講習で、受講者は消防署職員の説明などを受け、熱心に講習に取り組みました。

人が倒れて救急車が来るまでの間、心臓マッサージやAED(自動体外式除細動器)による心肺蘇生法で救命の可能性が高まります。

市では今後2か月に1度、講習を行います。7月13日(日)は今市消防署。



文・写真：消防本部警防課

トロツコフマンションショー【5/25・足尾】

わたらせ渓谷鐵道トロツコフマンションショーが、大間々駅・足尾駅間のトロツコフ列車内と古河掛水倶楽部内の庭園を会場に開催されました。

今回のファッションショーは和装を中心に行われました。足尾の新緑や古河掛水倶楽部の建物・庭園が醸し出す雰囲気と優雅な和服とが融合し、参加者に大好評でした。



文・写真：足尾総合支所総務課

貝の世界にビックリ【5/31・今市】

歴史民俗資料館では、県立博物館の古野勝久先生を招いて、講座「貝の世界」を開催しました。貝は海の中から山の上まで10万種もいて、1m以上もある二枚貝や1〜2mmの巻貝など、形や生態も変化に富んでいます。

参加者は、「イカやタコも貝の仲間なの!」、「今市にも貝がいるとは!」などと驚いていました。



文・写真：歴史民俗資料館

親子わくわく農園【6/7・日光】

晴天の中、山久保で親子わくわく農園を開催し、市内の家族が汗を流しました。今年度は苗植えから収穫まで3回に分けて行います。第1回目の今回は、サツマイモの苗植えとビニールハウスのいろいろな農作物見学を行いました。

今後は、8月に大根の種をまき、10月に収穫します。実りの秋が今から楽しみです。



文・写真：日光教育行政事務所

地域のニュースを募集します!!

このコーナーでは、皆さんから記事・写真の投稿を募集しています。

募集する記事 自治会の催しや、地域のちよっと珍しい出来事、心温まるエピソードなど

※内容によっては掲載できない場合があります。応募方法 記事に写真を添え、住所・氏名・電話番号を明記の上、郵便かEメールで送付するか、持参でご応募ください。

○記事：140字程度(題名、日付、場所を別に記載してください)

○写真：紙焼き・デジタルデータどちらでもOKです。ただし、携帯電話のカメラで撮ったものなど、大きすぎた際に画像が荒れるものは不可とします。

あて先 〒321-1292 日光市今市本町1番地 日光市役所企画部秘書広報課 広報広聴係 Eメールアドレス hshokouhou@city.niiko.lg.jp